

今日はMissionCollege最終日。午前はサンフランシスコで活躍する日本を代表する3人の方々に、それぞれの視点からのお話をうかがうことができました。

在サンフランシスコ日本総領事館首席領事の石原猛さんは、アメリカで大切な心構えは、深く考え込みすぎずとにかく行動し、コミュニケーションをたくさん取ることだとおっしゃっていました。人間観察をして、周りをよく見るのが成功の第一歩だそうです。



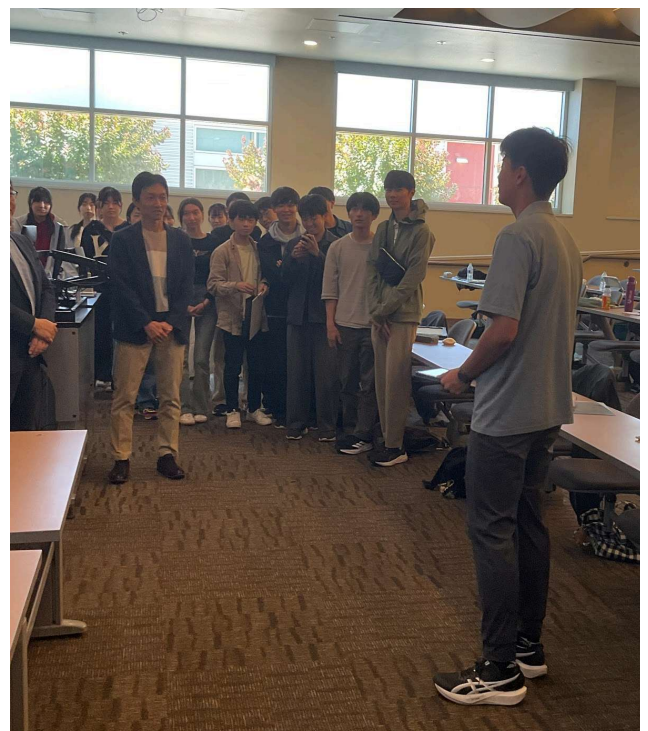
日本のビジネスや研究の支援を行う国立研究開発法人NEDOシリコンバレー事務所の事務所長である田中宗介さんは自らを「明るいスパイ」と称し、ユーモアを交えて話してくださいました。迷ったときは、よりチャレンジングな方を選べばよいというアドバイスをいただきました。



また、医療に関する研究開発を行っているKANEKA Americans Holdingの加藤隆之さんは、「グローバルな世界において、日本人であるということは強みか弱みか」という問いに対し、「強みにしなければならない」と述べ、日本人の責任感の強さに言及しておられました。そして、好きなことや個性を大切にすることが人間にしかできないことであるとおっしゃっていました。



3人の話に共通していたことは、チャレンジすることと、自分のことを知ることの重要性です。この研修は、新しいことをする機会や自分を客観視する機会に溢れています。今日のことを心に留めて、後半はさらに充実した研修にしていきたいと感じました。



3人のパネルディスカッションの後、フリーで質問したり、一緒に昼食を食べたりしました。かけがえない経験となりました。お忙しい中このような機会をくださったことにとても感謝しています。

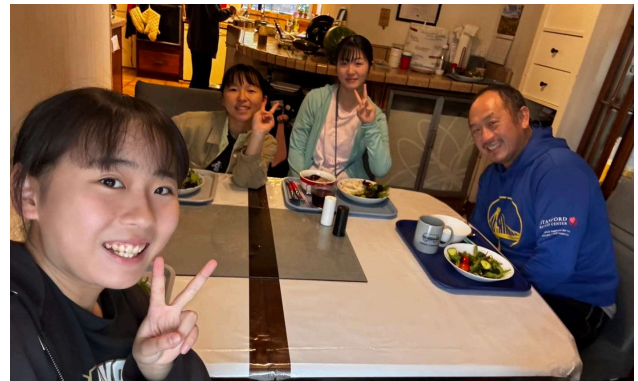
昼食後はBusiness Pitch Classの授業に参加しました。簡潔さ・わかりやすさ・説得力を指標に、30秒という時間制限の中で、自分たちのビジネスプランを説明するという試みでした。



まずは、自分の考える日常生活の問題点をブレインストーミングで共有し、プレゼンテーションを準備しました。グループごとに内容を共有した後、代表者たちでのチームバトルが始まりました。みんな堂々と自分の思いを発言していて、とてもenthusiasmを感じました。赤チームと青チームのジャッジは我々生徒がすると思いましたが...



BestSpeakerが決まり、MissionCollegeの先生方とお別れし、ホストファミリーのもとへ。我が家は、他のファミリーが続々と帰宅する中、友人とMissionCollegeの大通りでランニングをしました。先生方、添乗員の皆さん、多大なるご迷惑をおかけしましたが、無事に運動ができ、太らずに済みそうです。帰路の道中、明らかに19時とは思えない青空と強い日差し。そんなカリフォルニアの快適な気候に愛着が湧いてきました。



夕食は日本にはない巨大ソーセージとネクタリンというアメリカの桃をいただきました。あまりにも美味しかったので、日本の皆さんに「も」を一つ差し上げます。



アメリカ研修も後半戦に差し掛かり、時の流れの早さには「Ahaan」を禁じ得ませんが、ここからが大事です。Take us to the Learning Zone!!!!





#QUOTE of the Day

In chess, even a pawn can take a king.

映画「Young Washington」より